

【灯】 「日田と飛騨高山」
<2022/9/20 大分合同新聞掲載>

この夏、日田市を訪れて、豆田町を歩き、また大肥の清溪文庫にお伺いして、元大蔵大臣・日本銀行総裁井上準之助氏の遺品などを拝見致しました。

豆田町を歩いていて、ふと感じたのが、街の雰囲気は岐阜県の飛騨高山に似ているということです。全く個人的なことになりますが、私の義父が高山市の出身で、何回か同地を訪れる機会がありました。そんな背景もあって、豆田町の風情ある建物を目にした際に、日田と高山、二つの街の共通点が脳裏に浮かんできました。

思いつくままに並べてみますと、どちらも幕府の直轄地、林業が盛ん、家具やげた、焼き物など伝統工芸で有名、歴史あるすてきな街並み、華やかな山車に彩られた格式あるお祭り、小京都と呼ばれている、素晴らしい温泉、地酒やみそ・しょうゆが名物、麺もおいしい（おそばに加えて、日田焼きそばと高山ラーメン）…。他にもいろいろありそうです。

また、視点を少しズームアウトして、県単位で大分と岐阜を比べてみても、伝統ある盆踊り（鶴崎踊・姫島の盆踊と郡上（ぐじょう）おどり）、壮大なスケールの鍾乳洞（稲積・風連と飛騨）、たくさんの滝の名所など、さまざまな共通点が思い浮かびます。

今後とも、県内各地に足を運んで、大分の魅力（味力も）を体験するとともに、私流の楽しみ方として、他の街との共通点探しも続けていきたいと思っております。（日本銀行大分支店長）